総合土木

高橋　奈生

最上総合支庁産業経済部
農村整備課
（令和５年度採用）

上司や先輩が親身になって教えてくれます

ある一日の流れ

8：30

メールのチェック

9：00

打合せ

10：30

工事費の試算

12：00

休憩（昼食）

13：00

現場確認

16：30

報告書作成

17：15

業務終了

農村づくりのエキスパート

現在の担当業務は

農地の大区画化などを行う区画整理工事の発注・監督業務を行っています。工事を進めていくと様々な問題が発生しますが、たくさんの方と協力しながらそれらを乗り越え、工事完成に至った時は達成感を感じます。

県職員を選んだ理由は

社会インフラの整備や農業生産基盤の整備など、県民の生活を支える仕事に魅力を感じ、県職員を志望しました。

職場の雰囲気は

分からないことがあっても、上司や先輩方が親身になって教えてくれます。また、様々なイベントがあるので仲を深めやすいと思います。

県職員になって感じたギャップは

デスクワークが中心の仕事だと思っていましたが、実際は現場での打合せや工事の進捗状況確認など、外に出る機会が多いと感じました。

工事検査の様子

先進地視察の様子